



## 第2回 新人助産師研修

令和2年9月12日（土）、山口県看護研修会館において、第2回新人助産師研修が開催されました。山口県立総合医療センター、総合周産期母子医療センター長である佐世正勝先生に、「CTG モニタリング判読」「陣痛促進剤使用の適応と管理」について講義をして頂きました。参加者は新人助産師16名でした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席が密にならないようにすること、1時間に1回は換気を行うこと、手指消毒の徹底などに留意しながらの研修開催でした。

「胎児心拍数図波形の定義」「胎児心拍数図波形の生理的な背景」「胎児機能不全の診断と対応」「分娩監視装置の実際」「薬剤投与の基礎知識」という5つの項目について、具体的な事例と実際のCTG波形図を用いながら説明して頂きました。



参加者からは、「臨床で役立つ知識ばかりで学びが深まった」、「実際のCTG波形図を見ることができて非常に学びが深まった」、「実際の現場で判断が難しかった場面を振り返りながら学ぶことが出来た。今後の現場での判断に活かしていきたい」など、前向きな感想がたくさん聞かれました。また、ガイドラインの内容についても説明があり、改めてガイドラインに基づいた適切な判断の重要性を学ぶことができました。



産婦の一番近くにいる私達助産師が、胎児からのメッセージを見逃すことなく、適切に受け取ることが、安全な分娩に繋がります。

今回の研修での学びを日々の助産業務に活かし、たくさんの元気な赤ちゃん誕生のお手伝いをしていきたいと思います。

次回の新人助産師研修は10月10日（土）「産科ショック（出血時の対応）」です。

山口県看護協会助産師職能委員会